

第10回中野総合学科新校（仮称）再編実施計画懇話会

日時：令和5年6月26日（月）

18時～19時30分

会場：中野市中央公民館 301 講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨拶

3 会議事項

- (1) 「第9回中野総合学科新校再編実施計画懇話会」まとめ
- (2) 第6・7回校地検討会議の報告
- (3) 新校の学校像等について
- (4) 募集開始年度・募集学級数について

4 その他

<次回の予定>

- (1) 第11回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

7月下旬または8月上旬予定

5 閉 会

中野総合学科新校 再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	竹内 敏昭	中野市 副市長
2		久保田 敦	山ノ内町 副町長
3		柴本 豊	中野市教育委員会 教育長
4		竹内 延彦	山ノ内町教育委員会 教育長
5	産業界	藏谷 伸太郎	信州中野商工会議所 議員
6		黒井 悦子	山ノ内町商工会 女性部部長
7	同窓会	斉藤 武美	中野立志館高等学校同窓会 副会長
8		芦澤 孝幸	中野西高等学校同窓会 会長
9	PTA	笠原 広	中野立志館高等学校PTA 会長
10		横田 善二	中野西高等学校PTA 会長
11		外山 雄一	中高PTA連合会 会長 (中学校代表)
12		湯本 将平	中高PTA連合会 (小学校代表)
13		金澤 きみ枝	小布施中学校PTA 副会長
14	学校関係者	滝澤 崇	中野立志館高等学校 校長
15		森角 太一	中野立志館高等学校 教諭
16		弓削 弥生	中野西高等学校 校長
17		武居 真穂	中野西高等学校 教諭
18		黒岩 徳治	中野下高井校長会 副会長 (豊田中)
19		田中 和幸	中野下高井校長会 会長 (延徳小)
20		川本 修一	上高井郡・須坂市校長会 中学校副会長 (小布施中)
21	学識経験者	大日方 悦夫	元県立高等学校長
22	地域	小池 広益	北信地域振興局 局長
23		小林 妙子	山ノ内町
24	生徒	滝澤 漣	中野立志館高等学校生徒会 会長
25		山田 真綾	中野立志館高等学校生徒会 副会長
26		久保山 ルリ	中野西高等学校生徒会 会長
27		西澤 水涼	中野西高等学校生徒会 副会長

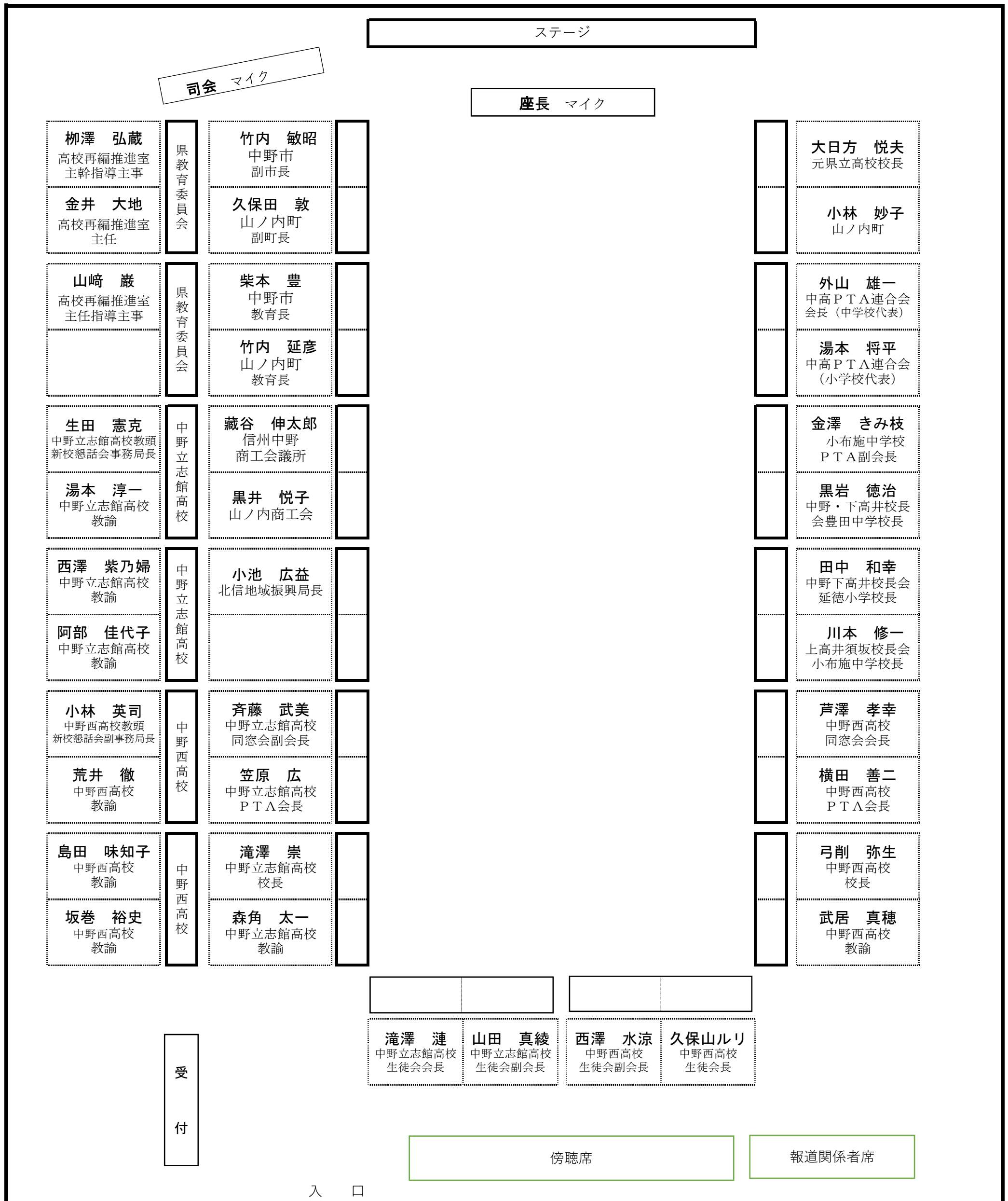
：今回から参加いただく構成員

事務局

中野立志館高等学校		中野西高等学校		高校再編推進室	
生田 憲克	教頭	小林 英司	教頭	柳澤 弘蔵	主幹指導主事
森角 太一		荒井 徹		金井 大地	主任 (中野担当)
湯本 淳一		島田 味知子		山崎 巖	主任指導主事 (中野担当)
西澤 紫乃婦		坂巻 裕史		内山 みのり	主任指導主事 (中野副担当)
阿部 佳代子		武居 真穂			

第10回中野総合学科新校再編実施計画懇話会 会場配置図（席図） 2023. 6. 26

会場：中野市中央公民館



第9回中野総合学科新校(仮称)再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和5年(2023年)4月27日(木曜日)18時00分~19時30分		
場所	中野市中央公民館 301講堂		
出席 (敬称略)	竹内敏昭、久保田敦、堀内敏明、竹内延彦、藏谷伸太郎、黒井悦子、芦澤孝幸、内藤弘典、横田善二、外山雄一、湯本将平、金澤きみ枝、滝澤崇、森角太一、弓削弥生、武居真穂、黒岩徳治、渡邊浩司、川本修一、大日方悦夫、小池広益、小林妙子、滝澤漣、山田真綾、久保山ルリ、西澤水涼(以上26名)		
欠席 (敬称略)	斉藤武美(以上1名)	傍聴者	14名 マスコミ3社
事務局	中野立志館高校	生田教頭(事務局長)、西澤教諭、湯本教諭、阿部教諭、森角教諭	
	中野西高校	小林教頭(副事務局長)、荒井教諭、島田教諭、坂巻教諭、武居教諭	
	県教育委員会	柳澤主幹指導主事、金井主任、山崎主任指導主事	
当日資料	次第、第8回懇話会まとめ、中野総合学科新校学びのイメージ図、グループ討論すすめ方等について		

会議事項

- (1) 第8回懇話会まとめ(報告)
- (2) 新校学びのイメージ図について グループ協議
- (3) 意見交換

グループ討議概要(要旨)

1 グループ討議内容

- ① 全体の構成について
- ② 「世界に挑戦し続ける、未来志向の総合学科高校」の表現について
- ③ 「目指す学校像」の内容について
- ④ 教育内容、システムについて
- ⑤ 地域共学コンソーシアムについて
- ⑥ その他 気になったこと

2 各グループからの意見

○グループA

- ・「世界に挑戦し続ける、未来志向の総合学科高校」というタイトルについては、地域に視点を置きながら地域から世界を見た方が現実的などの意見から、「世界を見ながら地域から挑戦し続ける…」に変更した方がよい。
- ・「3Dキャリア教育」の図が初見だとわかりづらく、中学生にも理解しにくいと感じる。イメージしやすいものがよい。
- ・現在、ユネスコスクールは中野西高校で認定されているが、新校に引き継げるのか。
- ・地域共学コンソーシアムについて、「企業」だと会社に限定されるイメージであるので、農業なども含め「地域産業」のような表現にしてはどうか。「ユネスコ」の言葉を使わず、「国際」や「SDGs」や「ESD」のような別の表現にしてはどうか。
- ・全体的にワクワクする内容にした方がよい。(ワクワク感がほしい)

○グループB

- ・「世界に挑戦し続ける」については、「世界に羽ばたくために挑戦し続ける」に変えてはどうか。
- ・目指す学校像について、創造、協働の文言と表現の仕方が違うので「チャレンジ」を「挑戦」に、「失敗」

を「困難を乗り越える」というような表現に変えてはどうか。

- ・文中のユネスコスクールはキャリア教育よりも探究学習の方に親和性があり、キャリア教育の枠の中に入るのは違和感がある。ユネスコスクールを探究学習の枠もしくは下部のサポートに入れてはどうか。
- ・ユネスコスクールの再申請許可は時間がかかる。できるだけ新校で承認できるようにしていきたい。
- ・探究学習の枠の中において、「コンソーシアムと協力し」の前に「ユネスコスクールとして」を入れた方が中野西高校の取組がより見えてくるのではないか。
- ・科目選択の枠で、大学への進学ができるイメージが持ちにくい。進路について学びながら決定していくイメージである。
- ・地域共学コンソーシアムの「ユネスコ」を「ユネスコスクール」に変えることで、近隣のユネスコスクール認定校との連携ができるイメージが持てるのではないか。

3 全体討議でのまとめ

- ・「世界に挑戦し続ける、未来志向の総合学科高校」の表現については、「世界」が必要かどうか検討すべきである。
- ・「目指す学校像」について、「さまざまなことにチャレンジし続け～失敗も受け入れる」など言葉の位置の入れ替えを検討する。
- ・ユネスコスクールについて、キャリア教育との意味合いが違うため検討が必要である。
- ・地域共学コンソーシアム内の「ユネスコ」はコンソーシアム内に必要か検討すべきである。

その他

【次回】

(1) 第10回中野総合学科新校再編実施計画懇話会

日時：令和5年(2023年)6月26日(月) 予定18時00分～19時30分

会場：中野市中央公民館301講堂

内容：・第9回中野総合学科新校再編実施計画懇話会のまとめ

- ・校地検討部会の報告
- ・新校の学校像について
- ・募集開始年度、募集学級数について

(2) 第6回校地検討会議

日時：令和5年(2023年)6月22日(木) 予定16時30分～18時30分

会場：中野市中央公民館201会議室

内容：・学校像からの観点について

(3) 第7回校地検討会議

日時：令和5年(2023年)6月26日(月) 予定16時30分～17時30分

会場：中野市中央公民館201会議室

内容：・新校の校地について

未来に挑戦するための総合学科高校

目指す学校

- 挑戦 様々なことに挑戦し、失敗しても粘り強く取り組む力を育む
- 創造 自己と他者を見つめ、社会と積極的に関わりを持ち、変化に柔軟に対応できる創造力を育む
- 協働 地域から世界まで、幅広い視野を持ち、他者と協働し未来社会に貢献できる人を育てる

総合学科×ESD(持続可能な開発のための教育)

キャリアデザイン

探究学習・ESD

多彩な科目

○多様な進路希望に対応できる教育課程

- ・個別最適な時間割が作成できる、将来のキャリア形成に繋がる魅力ある多彩な科目群
⇒大学進学を目指すための科目の充実
⇒工業、商業、情報、福祉、家庭、外国語、芸術等のバラエティに富んだ学びの充実
- ・オンラインによる大学・専門学校の講義受講、他校の授業履修や単位互換

○環境、地域・国際理解等の課題について地域の人々とともに協働して取り組むESD

- ・視野を広げ、多様性受容力を高めるための地域共学コンソーシアムや国内外のユネスコスクールとの連携
- ・地域全体を学びのフィールドとした学習活動
- ・地域の人などを外部講師として活用した授業、企業実習(地域人材の活用)

○自分の好きや強みを深める活動

- ・現代社会で必要とされる多様性と専門性の習得
- ・ボランティア活動やインターンシップ等の学校外の学び
- ・異文化理解を深める海外との交流、海外留学への支援

地域共学コンソーシアム



幼保小中高



医療・福祉機関

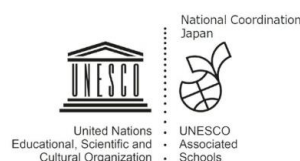


地域産業



自治体

ユネスコスクール



「学びのイメージ」の変更点

1 【世界に挑戦し続ける、未来志向の総合学科高校】⇒【未来に挑戦するための総合学科高校】

- ・「世界」という文言を外してはどうかというご意見から、「世界」を削除
- ・コンパクトにすることで総合学科の可能性の大きさを表現
- ・総合学科でのキャリア形成に繋がる学びにより、自分のキャリアデザインや地域はもとより世界を視点とした「持続可能な未来」を創造する高校をイメージ
- ・具体的な内容：
 - ・地域全体を学びのフィールドとした、地域の学びの拠点となる新たな総合学科高校を目指す
 - ・ユネスコスクールとして、ESD（持続可能な開発のための教育）をベースにグローバルな人材育成を目指す

2 目指す学校について

(1) 挑戦

- ・懇話会でのご意見から言葉の入れ替え、「チャレンジ」と「挑戦」を統一

失敗も受け入れ、様々なことに**チャレンジ**し続ける力を育む ⇒ 様々なことに**挑戦**し、失敗しても粘り強く取り組む力を育む

(2) 創造

- ・卒業することが前提であることから「卒業後も」を削除

自己と他者を見つめ、社会と積極的に関わりを持ち、
~~卒業後も~~変化に柔軟に対応できる創造力を育む ⇒ 自己と他者を見つめ、社会と積極的に関わりを持ち、
変化に柔軟に対応できる創造力を育む

(3) 協働

- ・「人材を育む」は、「人を育てる」ではないか

地域から世界まで、幅広い視野を持ち、他者と協働し
未来社会に貢献できる**人材を育む** ⇒ 地域から世界まで、幅広い視野を持ち、他者と協働し
未来社会に貢献できる**人を育てる**

3 教育内容・システムについて

(1) 「キャリア教育」「探究学習」「科目選択」

- ・総合学校高校での3本の柱をイメージしていたが、それぞれの内容が下記の「生徒自身～サポート」の内容と重なるものもあることから、ここではそれぞれの内容を説明せず、イメージのみ表示
- ・教育内容・システムのイメージを「総合学科×ESD(持続可能な開発のための教育)」「キャリアデザイン」「探究学習・ESD」「多彩な科目」で表現
- ・「キャリア教育」を主役である生徒を主語とした「キャリアデザイン」に変更
- ・中野西高校のユネスコスクールを継承していくことを考え、ユネスコスクールとしての中心的な学びであるESDの推進をイメージ
- ・未来を創造していくために、総合学科のシステムを使いながら、持続可能な社会づくりの担い手を育てていくことをイメージ

○キャリア教育	⇒「総合学科×ESD(持続可能な開発のための教育)」
・自分の好きを知り、自分の未来をデザインしていく 「産業社会と人間」を柱としたキャリア教育の充実	○キャリアデザイン
・ユネスコスクールとして、グローバルな視野での多様なキャリアの選択肢を提供	○探究学習・ESD
○探究学習	○多彩な科目
・学びの楽しさや問題解決力の育成を目的とした学習環境を提供	(説明文は、下の「生徒自身～サポート」の内容と重なるため、ここでは説明しない)
・コンソーシアムと協力し、実践的な課題解決力を身につける学びを提供	
○科目選択	
・自己成長につながる、一人ひとりの夢の実現のための科目選択	
・生徒の能力を最大限に引き出す、多彩な教科から興味のある分野を深く学ぶ科目群	

(2) 「生徒自身が自らの手で未来を切り拓いていくためのサポート」

- ・「総合学科」と「E S D」を掛け合わせることで新たな学校をイメージ
- ・タイトルを「総合学科×E S D (持続可能な開発のための教育)」に1つに絞り、「生徒自身～サポート」の文言を削除
- ・項目を統合・変更し、「キャリア教育」「探究学習」「科目選択」の内容を記載

○個々の目標に合わせたカリキュラムを提供し、柔軟に方向性を見つめ直すことも可能	⇒○多様な進路希望に対応できる教育課程
○大学・専門学校や地元企業・技術者との協力による専門的な学びにも対応	・個別最適な時間割を作成できる、将来のキャリア形成に繋がる魅力ある多彩な科目群 →大学進学を目指すための科目の充実 →工業、商業、情報、福祉、家庭、外国語、芸術等のバラエティに富んだ学びの充実
○海外交流や地域コミュニティとの連携を通じ、多様な学びの場を提供	⇒○環境、地域・国際理解等の課題について地域の人々とともに協働して取り組むE S D (持続可能な開発のための教育) ・視野を広げ、多様性受容力を高めるための地域共学コンソーシアムや国内外のユネスコスクールとの連携 ・地域全体を学びのフィールドとした学習活動 ・地域の人などを外部講師として活用した授業、企業実習(地域人材の活用)
○時代の変化に対応するために、新たな学びを取り入れるとともに、柔軟性のある教育を実践	⇒○自分の好きや強みを深める活動 ・現代社会で必要とされる多様性と専門性の習得 ・ボランティア活動やインターンシップ等の学校外の学び ・異文化理解を深める海外との交流、海外留学への支援

(3) 「3Dキャリア教育を通して、人間力が育つ」+イメージ図 ⇒削除

- ・『3Dキャリア教育』についてイメージすることが難しいとのご意見から削除
- ・今後準備していく教育課程で研究していく(新校準備で検討)

4 地域共学コンソーシアムについて

(1) 「小・中学校」 ⇒「幼保小中高」

- ・地域のすべての校種の学びとのつながりをイメージし「幼稚園」、「保育園」を追加
- ・須坂地区の高校との連携をイメージし「高校」を追加

(2) 「医療機関」 ⇒「医療・福祉機関」

- ・医療機関のみでなく、福祉機関との連携も行っていくことをイメージ

(3) 「企業」 ⇒「地域産業」

- ・地域の企業のみならず、すべての産業との連携をイメージ

(4) 「ユネスコ」 ⇒「ユネスコスクール」

- ・コンソーシアムには入れず、国内外のユネスコスクールと連携していくことをイメージ

(5) 「地域全体で世界に、未来に羽ばたく生徒を育成」

- ・具体的な内容を教育内容・システムの中で説明しているので削除

旧第1～3通学区 中学校卒業生数と全日制の募集学級数

年齢	現高1 中3										2022年(R4)11月資料					高校再編推進室				
	20歳	19歳	18歳	17歳	16歳	15歳	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	
高校入学年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	
旧第1中学校卒業生数	255	265	250	256	233	235	169	222	217	188	210	206	191	176	162	166	154	140	139	
前年度比増減	-6	10	-15	6	-23	2	-66	53	-5	-29	22	-4	-15	-15	-14	4	-12	-24	-10	
旧第2中学校卒業生数	1165	1059	1031	1084	1084	1033	997	1011	1020	972	981	956	915	854	833	809	754	696	675	
前年度比増減	-6	-106	-28	53	0	-51	-36	14	9	-48	9	-25	-41	-61	-21	-24	-55	-24	-10	
旧第3中学校卒業生数	2582	2567	2378	2459	2461	2406	2336	2320	2175	2125	2016	2044	1984	1790	1741	1705	1622	1628	1669	
前年度比増減	-6	-15	-189	81	2	-55	-70	-16	-145	-50	-109	28	-60	-194	-49	-36	-83	-24	-10	
中野立志館	6	5	5	5	5															
中野西	5	5	4	5	5															
須坂東	5	4	4	4	4															
須坂	6	6	6	6	6															
須坂創成	7	7	7	7	7															
学級数合計	29	27	26	27	27															

旧第2通学区 中学校卒業生数と全日制募集学級数の推移

